

あわあ あきあ

2017年7月22日(土)～10月9日(月)
9時～17時 休館日：水曜日 会場：2階展示室

電流体の感情！
北原白秋
懺悔の器！
室生犀星



萩原朔太郎
詩集『月に吠える』一〇〇年記念展——ここからすべてが始まった

観覧料：一般 300 円（常設展示もご覧になれます）高校生以下無料
観覧無料の日：7月22日(土)（展覧会初日）7月29日(土)（記念イベント開催日）
9月2日(土)（開館記念日）10月7日(土)・8日(日)（前橋まつり）
協力：萩原朔太郎研究会 KARAS



『月に吠えらんねえ』展

7月8日(土)～10月9日(月) 9時～17時
休館日：水曜日 3階オープンギャラリー 観覧料：無料

作者の清家雪子さんが9月に来館予定です。
詳細は後日前橋文学館HP等でお知らせします。



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10 TEL.027-235-8011 FAX.027-235-8512
<http://www.maebashibungakukan.jp/> 『月に吠える』詩篇ランキング、HPで投票受付中



萩原朔太郎の第一詩集『月に吠える』。日本近代詩史におけるひとつの事件と言えるこの詩集は、本年度刊行一〇〇年を迎えた。どのように刊行されたのか、どのような詩集だったのか、今後どのように読まれていくのか。現在まで続くその影響と意義を資料からご覧いただくと共に、『月に吠える』の詩集の世界を体感してください。

朔太郎肖像写真（大正6年頃）

詩集『月に吠える』100年記念展



萩原朔太郎『月に吠える』無削除本
1917（大正6）年2月
県立神奈川近代文学館蔵



撮影：長尾 迪

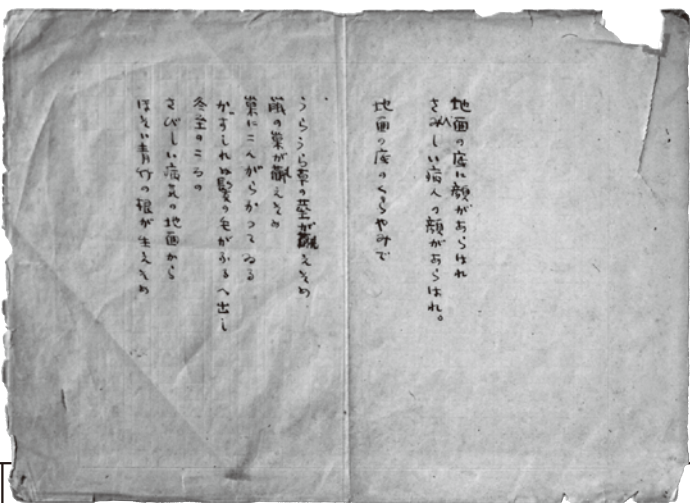
記念イベント

プロフィール（ゆめまくら ばく）
1951年神奈川県生まれ。シリーズ作品に『キマイラ』『戦狼伝』『陰陽師』ほか。『上弦の月を食べる獅子』で日本SF大賞、『神々の山嶺』で柴田錬三郎賞、『大江戸約客伝』で泉鏡花文学賞、舟橋聖一文学賞、吉川英治文学賞受賞。2000年、朔太郎の詩をモチーフにした小説『腐りゆく天使』を刊行。

講演「言葉の魔術師 萩原朔太郎」夢枕獯（作家）
7月29日（土）14時〜（開場13時30分）会場：3階ホール
先着100人 参加費無料
※7月8日（土）午前9時より電話で受付開始 027-235-18011

主要展示作品

・書籍／『月に吠える』初版（無削除本）、『月に吠える』初版（削除本）、『月に吠える』再版（アルス版）ほか
・原稿／『地面の底の病気の顔』『竹』『殺人事件』『愛機』『恋を恋する人』ほか



「地面の底の病気の顔」原稿

・挿画／田中恭吉「冬の夕」、恩地孝四郎「抒情（よるこびあふれ）」ほか
・雑誌／『地上巡礼』『ARS』『感情』ほか
その他関連資料

『月に吠える』の詩をイメージしたアート作品（新作）

＜オブジェ＞猫「林麻依子」
＜アニメーション＞地面の底の病気の顔「折笠良」、「竹」（光る地面に竹が生え…）
山中澤「蛙の死」「巨石塵子」
＜実写映像＞猫「佐藤浩多」、「さびしい人格」「丸大地」、「椅子」豊田れい子、詩集未定花園クリエイティブ（第2回まえばしCMフェス入賞者）

学芸員による展示解説

8月5日（土）9月9日（土）、10月7日（土）
各日とも13時30分〜14時30分
観覧券をご購入の上、2階展示室にお集まりください。※10月7日は観覧無料



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち前橋文学館
〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10
TEL.027-235-8011 FAX.027-235-8512

アクセス（交通案内）

電車 JR前橋駅から徒歩約20分
上毛電鉄中央前橋駅から徒歩5分
自動車 関越自動車道・前橋ICから約15分

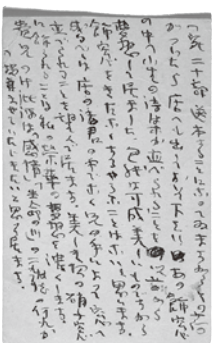
市営パーク城東のご利用に際しては、駐車券に割引処理をいたします。

アーツ前橋展覧会情報

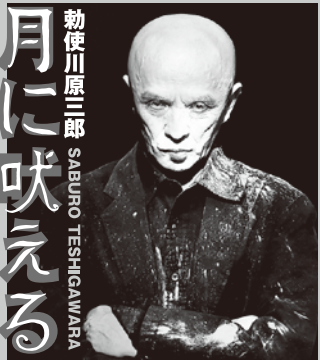
コレクション+
アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ
会期：2017年7月21日（金）～9月26日（火）
TEL：027-230-1144
<https://www.artsmaebashi.jp/>

・ノート／ノート「ノート」の「浄罪詩篇」オ
・A、Bほか

・書籍／萩原栄次宛、高橋元吉宛ほか



高橋元吉宛葉書
1917（大正6）年2月13日消印



2017年8月
24日（木）19:30
25日（金）19:30
26日（土）16:00
27日（日）16:00
東京芸術劇場
プレイハウス

S席 5,000円
A席 3,500円
（当日券は+500円）
25歳以下（A席）
2,500円
65歳以上（S席）
4,000円
高校生割引1,000円

お問合せ：
KARAS（カラス）03-5858-8189
<http://www.st-karas.com>

前橋文学館協力 ダンス公演

振付・美術・照明・衣装・選曲・出演：勅使川原三郎
出演：佐東利穂子 鯛川枝里 マリア・キアラ・メツアトリ
バスカル・マリーティ（マヨリ オペラ・ダンスカンパニー）